

横須賀市議会議員

長谷川 昇

市政報告



2015年4月～横須賀市議会議員二期目当選  
所属:教育福祉常任委員会 議会運営委員会  
等所属会派:「研 政」

事務所:〒238-0012 横須賀市安浦 2-33-1-102

TEL:080-4383-1633 fax 046-854-9529

E-Mail:hasedon2@gmail.com

はせどんホームページ

<http://hasedon.info/>

## 横須賀市議会・12月議会報告

12月議会は11月29日から12月14日までの16日間開催されました。請願は1本で、うわまち病院の移転に関して、移転の撤回等を求める請願が出されましたが、審議の結果一部採択となりました。陳情は6本で、臓器移植の環境整備、安全安心の介護の実現、介護従事者の労働環境の改善、私学助成金の拡充、等の意見書提出に関する案件については審査終了となりました。その他、常任委員会の審議内容を記載します。

《常任委員会》4つの委員会に分かれて、議案・報告を審査します。

◎教育福祉常任委員会 認定こども園の要件を定める条例制定について、遺贈の放棄について、ベネッセコーポレーションが経営している横須賀市立田浦保育園の指定にいてなど質疑されました。また、報告では、横須賀市の地域福祉計画の策定について、市立2病院の病床数、公立保育園のブロック塀への対応、放課後児童対策事業計画の策定について質疑がありました。



◎生活環境常任委員会 特定非営利活動法人が条例対象となるための基準及び手順、法人の指定にあたり、市が市民協働審議会からの答申と異なる判断を行った事例の有無や同法人が指定を受けた場合のデメリットなどの質疑がありました。

◎都市整備常任委員会 武山地区の近郊緑地特別保全地区の土地買入れの見込み及び国庫補助の認証状況、自転車等駐車場や公園水泳プールの指定管理者の指定について、団体選考に当たり評価点が低い項目における課題の克服への指導。また、本公郷改良アパート建替事業について、PFIを活用したことによる効果、コンビニ等の提案計画の実現性、福祉NPO拠点整備に係る計画内容及び福祉部との連携の必要性について、質疑がありました。



◎総務常任委員会 議案は、文化会館条例改定、産業交流プラザの指定管理者の指定、損害賠償専決処分等の質疑のほか、31年度の行政組織の改正、ルートミュージアムの事業計画、浦賀奉行所開設300周年記念事業の検討状況、よこすかポートマーケット事業者会の要望への対応、などの報告と質疑がありました。

## ◎うわまち病院の請願は一部採択となりました。

上町連合町内会が提出した請願は、8月に横須賀市が発表したうわまち病院の移転に関して、①移転計画の見直し、②十分な説明会等の実施、③移転後の代替施設の設置の三点についての請願でした。移転計画の是非、市の説明の不十分さの一方で移転判断の妥当性などの質疑がなされ、審議の結果②③の項目について多数賛成で一部採択となりました。横須賀市は移転場所について現在検討中で、今年度中に決定していく方向です。

## ◎秋谷海岸の水上バイクについて質問しました(都市整備)

長谷川昇が一昨年(2017年)の12月議会で、秋谷海岸の水上バイクについて一般質問した件について、港湾部の対応と、事業者の運営に対しての行政の認識、今後の対応などを質問しました。◎港湾部は、「これまで地元町内会と協議しながら、事業者の海岸利用について決め事をしながら進めている。今年の夏には、ブイを設置して、水上バイクの新入水路を指定した。守られていない事例もあったと聞くので、今後も指導していく。」と回答した。



※秋谷海岸に掲示された看板。ゾーンを定め水上バイクはブイの外を通ることを確認しています。

## 「どうして、教師の過労死が繰り返されてしまうのか。」

妹尾昌俊さん(中央教育審議会委員・学校業務改善コーディネーター) ※Facebookから一部抜粋

「教師の過労死」の理由、背景をひとこと、二言で済ませるのは難しい。複雑な要因が絡み合っているというのが事実であるが、少なくとも次の3点は踏まえておく必要がある。

▼理由1: 過労死ラインを超えるほどの過重労働、プラス土日も休みなしのノンストップ労働が続いている。  
▼理由2: 児童生徒のためという献身的な思いと姿勢で、自分ではストップがかからないし、周りも止めていない。  
▼理由3: 体調不良など予兆があったとしても、授業に穴は空けられない、同僚や児童生徒に迷惑はかけられないと思い、通院しないし、休まない。

◎一番の問題は、文科省も教育委員会も学校も、過去の悲しいことに目を背けてきたこと

◎過労死(過労死等と疑われる事案を含む)となった事案があっても、「ああ、あの先生は気の毒だったよね」というくらいで済ませ、文科省も、教育委員会も、学校も、起きたことから学んでいない、教訓を引き出していないということが、一番の悪。教師の過労死等については、誰も、検証していない。

「教師の過労死」の問題が指摘されてから久しい。にもかかわらず年間300人を超える教師が過労死であろう原因で亡くなっている。逗子にお住いの妹尾昌俊さんは、このテーマについてずっと追いかけている学校業務改善コーディネーターだ。縁あって、今年度横須賀市の「教員の働き方改革検討会議」のコーディネーターに就任していただいている。横須賀の教師の働き方についても

★横須賀市教育フォーラム★ 2019年1月16日(水)14時45分～16時45分

横須賀総合高校シーホール 申し込みは 横須賀市教育委員会 太田 046-822-9709

※妹尾昌俊さんが、基調提案とパネルディスカッションのコーディネーターをしてくれます。